

## ロシア為替週報

2023年6月19日 | みずほ銀行欧州資金部

〈過去1週間の動き〉

(6月10日～6月16日)

USD/RUB: 82.6700～85.0300

先週1週間のロシア・ルーブルは続落。4月7日につけた年初来安値水準である対ドル83.44を突破し、6月14日には一時、節目となる対ドル85.0にタッチする場面もあった。その後はいったん対ドル83台前半まで持ち直したものの、なお年初来安値圏での推移が続いている。先週の原油価格は週前半に下落後、後半には持ち直しており、ルーブル安の要因ははっきりとはしないものの、何らかの形でロシアから海外に資金が流出している可能性はあるだろう。

サンクトペテルブルクで6月14日から始まったサンクトペテルブルクでの国際会議の内容が断続的に伝わっている。ナビウリナ・ロシア中央銀行総裁・シリアノフ財務相、レシェニコフ経済発展貿易相らが参加したパネルディスカッションがルーブル相場にとっては重要な内容を含んでいる。議論は国営企業の民営化や金融・財政政策による景気支援について時間が割かれたが、ロシア・ウクライナ戦争の経済への影響に関してはほとんど言及されなかった。また、ナビウリナ総裁は6月会合で示したように、ロシア経済は欧米による制裁に順応しており、景気の過熱のリスクや労働市場の逼迫を考慮すれば、金融緩和による景気刺激は望ましくないというスタンスを示している。改めて7月21日に控える次回金融政策決定会合での引き締め開始の可能性が示唆された形だ。16日のプーチン大統領の演説では、ウクライナ侵攻を巡り制裁を受けるなかでも2023年は1.5～2.0%程度の成長を達成できる可能性があるとしたほか、非欧米諸国と関係を強化する姿勢を鮮明にしている。また、戦術核をベラルーシに配属したと述べており、ウクライナの反転攻勢にうってでるなかで緊張が一段と高まるリスクがある。

経済指標では2023年1-3月期の実質GDP成長率の改定値が発表され、前年同期比▲1.8%と5月17日に発表された速報値(前年同期比▲1.9%)から0.1%ポイント上方修正された。業種別では製造業をはじめ、制裁の影響で2022年に大きく落ち込んだ業種の持ち直しが目立っている。制裁に関わらずロシア経済が耐性を示していることに対しては、発表される統計の数値自体が政治的な意図を汲んだものなのではないかという見方も強い。しかし、2014年のクリミア侵攻以来、同国経済が「制裁慣れ」している面もやはり否定できないように感じられる。

〈過去1週間に発表された主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
6/15	17:00	実質GDP(前年比)	Q1	-1.9%	-1.8%	-1.9%
6/16	14:00	外貨準備高(USD)	6/9		\$585.7b	\$585.0b

(\*予想はブルームバーグ社予想中心値)

〈向こう1週間の見通し〉

(6月17日～6月23日)

USD/RUB: 81.00～87.00

中長期的なルーブル安方向への展開が続くという見方に変わりはない。(1) 經常収支や財政収支など通貨ファンダメンタルズの悪化が鮮明となっていることが最大の理由である。G7などが経済制裁として科しているロシア産原油の輸入価格の上限設定措置を考慮すれば、ロシア産原油が国際的な指標であるブレントと比較して割安な水準で取引されることは避けられず、原油収入のアップサイドも限定的となろう。(2) また、海外への資金流出も継続する公算が大きい。もちろん、海外の投資家や企業がロシア国内から資金を海外に持ち出すことは厳しく制限されている。むしろ注目を集めているのは、ロシアの個人や企業が友好国に自らの資産を移そうとする動きや、ロシアの輸出企業が稼いだ外貨を国内に還流させずに国外に滞留させる動きである(外貨売り/自国通貨買いのフロー減少につながる)。

アップサイドリスクとしては、ロシア中銀の追加利上げの可能性が挙げられるものの、金利収入を目的とする海外からの資金流入が見込めない以上、ルーブル安圧力を食い止めるには力不足であろう。

〈向こう1週間に発表予定の主要経済指標等〉

月日	GMT	指標	期間	予想*	実績	前回
6/22	14:00	外貨準備高	6/16		\$585.7b	

(\*予想はブルームバーグ社予想中心値)

ロシア・ルーブルの推移

ルーブル対ドルレート(左軸、逆目盛)

ブレント先物価格(右軸)



原油価格の推移

実線: ウラル産原油価格

点線: ブレント先物価格(右軸)



実質GDP成長率

(前年同期比%)



(資料: ロシア統計局/ロシア中央銀行/ブルームバーグ)

〈文責〉

欧州資金部

シニア為替ストラテジスト

中島 将行

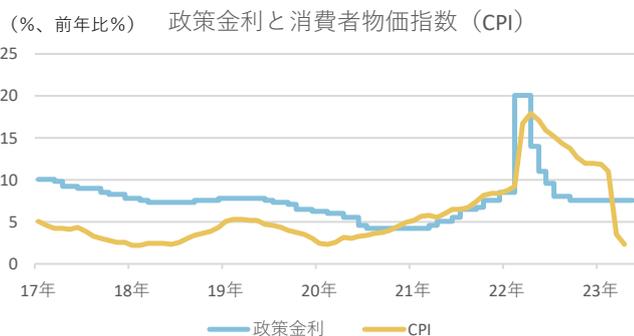
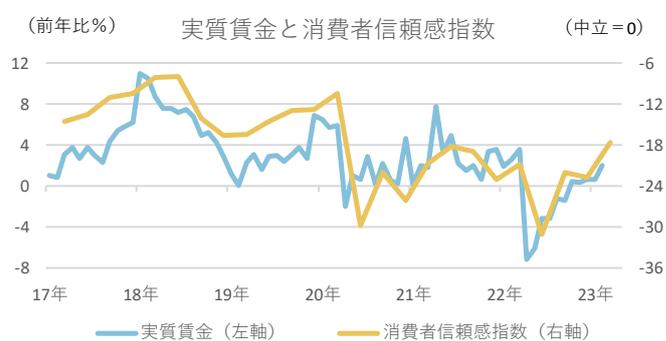
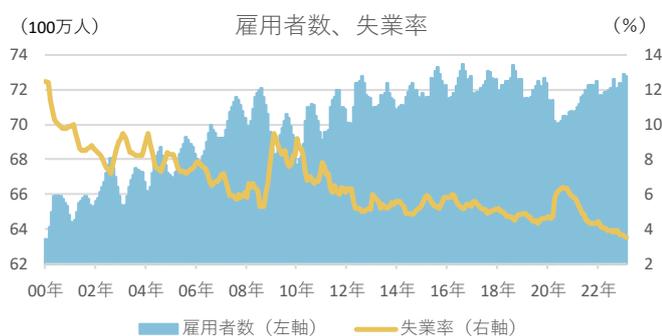
[masayuki.nakajima@mhcb.co.uk](mailto:masayuki.nakajima@mhcb.co.uk)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。

## ロシア為替週報

2023年6月19日 | みずほ銀行欧州資金部

## ＜主要経済指標の推移＞



(資料 ロシア中央銀行/ロシア統計局/ロシア財務省/ブルームバーグ/みずほ銀行)

当資料は情報提供のみを目的として作成したものであり、特定の取引の勧誘を目的としたものではありません。当資料は信頼できると判断した情報に基づいて作成されていますが、その正確性、確実性を保証するものではありません。ここに記載された内容は事前連絡なしに変更されることもあります。投資に関する最終決定は、お客様ご自身の判断でなさるようお願い申し上げます。また、当資料の著作権はみずほ銀行に属し、その目的を問わず無断で引用または複製することを禁じます。